

文化小ホール基本構想

基本構想策定の背景

周南市市民館は、昭和31年の開設以降、市民生活に密着した施設として広く利用されてきましたが、平成27年12月末に閉館しました。

現在、閉館した市民館跡地の利活用を推進する中で、本市の文化力向上やまちの賑わい創出を図るため、文化小ホールの整備について検討しています。

この基本構想は、本市の都心軸にふさわしい文化施設等の整備に向けた、基本的な考え方を整理したものです。

前提条件の整理

市内ホール施設の現状分析

施設名称	ホール席数	ホール利用状況
周南市文化会館	1,647席	音楽利用が約4割
徳山保健センター	200席	市利用が多い
学び・交流プラザ	316席	会議や軽運動利用が多い
新南陽ふれあいセンター	1,080席	軽運動利用が多い
熊毛勤労者総合福祉センター(サンウイング熊毛)	418席	軽運動利用が多い

市民・関係団体等のニーズ把握

市民参画内容	団体ヒアリング	団体アンケート	市内施設運営者ヒアリング	市民ワークショップ	市民アンケート	有識者検討会議
対象者	周南文化協会、市内活動団体、学校部活動計62団体	周南文化協会、学校部活動、幼稚園・保育園・子ども園計142団体	周南市文化会館、徳山保健センター、学び・交流プラザ、新南陽ふれあいセンター、熊毛勤労者総合福祉センター	第1回:17名/22名 第2回:20名/22名 第3回:13名/22名 第4回:16名/22名 第5回:14名/22名	計1,244件	学識、学校、文化、子育て支援等の有識者12名で構成、全4回実施

基本理念

文化小ホール等の基本的な考え方

(1) 基本理念

こどもと文化と交流の力で 人口減少社会を豊かに歩む

(2) 基本的な役割・機能

施設機能	施設イメージ
出会い・交流創出機能	・緩やかにつながることのできる共用スペース ・いつでもどこでも誰でも好きなことができる「日常」の延長にある空間 ・子どもからお年寄りまで、多世代が集い、活動できるフリースペース
発信拠点機能	・幅広い世代の人々が、日常的な活動ができる諸室 ・他施設機能との機能連携・分担が可能な動線・配置 ・まちの魅力を発信・PRするコーナー
創造拠点機能	・市民の発表の場から、プロによる興行公演まで、幅広い演目に対応可能な本格的なホール ・練習等、日常的な文化芸術活動ができる諸室
人材育成機能	・市民活動のスペース ・専門家による相談窓口
子ども居場所機能	・日常的な文化芸術活動ができる諸室、練習室 ・中高生が集える学習スペース
子育て支援機能	・子育て交流スペース ・開放型調理室 ・学習スペース ・母子保健機能専用室 ・キッズルーム、キッズコーナー ・子育て相談室 ・新たなスキルを身につける学習の場
健康増進機能	・心身の気がかかりや問題を気軽に専門職に相談できる場 ・健康に関する情報発信等、自ら情報収集し、気づきを促す場 ・健診ホール
避難所機能	・避難所機能 ・非常用電源 ・備蓄倉庫 ・自主防災組織等の会議や研修のため研修室

文化小ホール基本計画

基本計画について

基本計画の位置づけ

文化小ホール基本計画は、基本構想をより具体化し、今後の設計等の検討に活かすものです。策定にあたっては、基本構想と同様、これまで市民参画として実施してきたアンケート、市民ワークショップ等の結果を参考に、有識者検討会議における議論を踏まえ、検討を進めてきました。

しかしながら、文化会館の大規模改修を優先的に実施することや隣接地の山口銀行徳山支店の敷地も検討エリアとして拡げるなど、施設整備を取り巻く状況が大きく変化したことから、本基本計画は、基本構想同様、令和6年11月時点での検討内容をまとめたものを「中間報告」として位置づけ、今後、状況の整理ができた段階において、内容の見直しを行った基本計画を完成させます。

文化小ホールの基本的な考え方

文化小ホール基本構想(中間報告)において、各種調査結果より文化小ホールの方向性を以下の通り整理しています。

- ・各自が思い思いの時間を過ごし、ゆるやかに社会や人とつながることができる空間は、文化芸術の力で活力ある地域をつくるためになくてはならない機能であり、新たな施設においても求められています。
- ・市民が自分たちの手で新たな活動を創りあげることが必要であり、それを支え、導く専門家や行政との協働による運営が求められています。
- ・子どもや若い世代にとっても利用しやすい施設となり、事業への参加を通して達成感や自己肯定・自己効力感を感じ、自らが輝き、このまちで文化を楽しみ続けたいと感じてもらうことが重要です。

施設計画について

施設機能についての考え方

- ・文化小ホールは、市民の発表の場からプロによる興行利用まで、幅広い利用を想定し、音楽、演劇、ダンスまで幅広いジャンルに対応可能なホールとします。
- ・現在市役所本庁舎において不足している会議室を補完するような、幅広い用途に対応可能な諸室も設置することを検討します。

- ・ホール機能の他、練習等、日常的な文化芸術活動ができるようなりハーサル室や練習室等の諸室を設置することを検討します。
- ・子どもの居場所づくりにつながるスペース、子育て支援関連諸室、保健センター関連諸室等を設置することを検討します。

各機能の方針

(1)文化小ホール機能

舞台

舞台サイズはイメージのとおり想定します。その他、舞台に必要な寸法については理想的な数値を目指すこととし、設計段階において詳細に検討することとします。

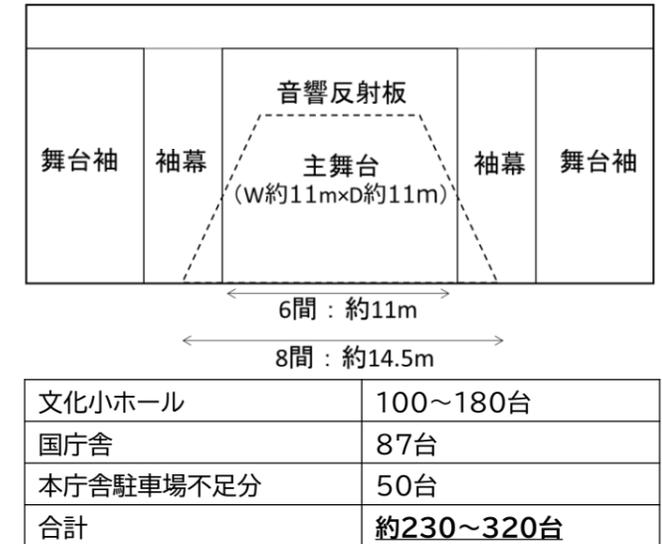
客席

これまでの意見聴取結果および市内施設の利用状況(旧市民館を含む)等を総合的に勘案し、客席数は**300~500席**程度で検討を進めます。

(2)駐車場

駐車場台数については、各施設ピーク時における最大必要台数を算出のうえ、右のように整理しました。

山口銀行徳山支店の必要台数は今後検討することとします。



基本構想・基本計画の策定に向けて

今後の検討項目

- ・市民館跡地について
- ・施設計画について
- ・管理運営に関する考え方
- ・概算事業費と整備手法の検討
- ・事業スケジュール
- ・施設配置イメージ
- ・各機能の方針(文化小ホール、駐車場以外)、施設の全体規模
- ・基本的な考え方、事業の方向性、運営組織等、施設運用・ルールの考え方